

令和6年度 墨田区立第三寺島幼稚園 幼稚園経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 園長 関口 亮治

幼稚園の教育目標	◎元気よく遊ぶ子供 ○やさしい心をもった子供 ○進んで取り組み、最後までやり抜く子供
目指す幼稚園像	「子供が主役」の幼稚園～豊かな体験と一人一人が輝くよさの発揮～
目指す幼児像	・自然体験や生活経験を通して、自発的に活動し、よさを発揮する幼児。
目指す教師像	・愛情をもって子供の思いや願いを受け止め、認め、励まし続ける教師。 ・明るく優しく公平で知性的な教師。

○令和6年度 幼稚園経営計画における重点内容

- ・自然体験や生活経験を通して、自発的に活動することや表現することを楽しむ意欲や態度を育てる。
- ・多様な遊びをとおして生きる力の基礎をはぐくみ、自ら学び考え行動する力につなげる。
これらの資質・能力の基礎を墨田区研究協力園2年次の取組をとおして育てていく。
- ・一人一人が自己を十分に発揮したり様々な感情体験を重ねたりし、互いのよさが生かされる喜びを味わう多様な人との関わりを推進する。
- ・特別支援教育の充実を図る。
家庭・医療・福祉関係機関との連携を図り、計画的な支援体制を整え、個別の支援を充実させる。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析	改善方策	学校関係者評価		
									自己評価	改善方策	意見等
保育活動等	○幼児の主体的な活動を促す教育を実施する。 ①幼児の知的好奇心を高める環境作りや働きかけをする。	①豊かな体験活動を充実させるため、実物に触れる、読み聞かせをする、見学をする、掲示物などの環境作りや働きかけを工夫する。 ②興味や関心を引き出し、意欲的に遊びに取り組むため、遊具、用具、素材等の整備と活用を行う。	4 主体的な姿の表出と次の計画に80%以上生かされる。	3	4 教員アンケートの肯定的回答80%以上	3	・意欲的に遊びに取り組むための環境作りを様々な視点から工夫することができた。福祉施設との交流、小学校の授業体験等、体験活動の機会を増やしたり、工夫したりして一層充実させることができた。	・より意欲的に遊びに取り組む姿を引き出すために、教員が活動の振り返りから次の計画を立てるPDCAサイクルを一層深めて、保育を進める。	A	A	・子供たちが興味をもつ保育内容や自由な発想を育てる教育活動を展開している。子供にとって有意義で、遊びを通して学んでいる。
			3 主体的な姿の表出と次の計画に70%以上生かされる。		3 教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2 主体的な姿の表出と次の計画に60%以上生かされる。		2 教員アンケートの肯定気回答60%以上						
			1 主体的な姿の表出と次の計画に生かされることが60%未満。		1 教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○特別な支援を必要とする幼児に対しての、組織的な支援を行う。 ①支援体制の充実を図り、組織的に見通しをもった支援を行い、一人一人のもつよさを発揮させる。	①日常から情報共有を行い、共通理解に基づいて体制を整備し、支援を進める。 ②巡回相談の機会を生かして研修を行うとともに、保護者や関係機関との連携を進める。	4 教職員の共通理解に基づいた組織的な対応状況が70%以上	4	4 教員アンケートの肯定的回答70%以上	4	・教職員の情報共有と共通理解に基づいて組織的に支援を進めることができた。 ・巡回相談の機会を生かしたり、保護者や関係機関と連携したりして、幼児理解を深めて支援することができた。	・支援体制の課題点を検討し、幼児が一層安心・安全に過ごせる環境づくりを進めていく。	A	A	・発達の特性を理解し、子供に合わせた関わり方で指導の工夫がなされている。子供にとっての最善の利益を保護者と一緒に考えている面を継続し、連携を図っていく。
			3 教職員の共通理解に基づいた組織的な対応状況が65%以上		3 教員アンケートの肯定的回答65%以上						
			2 教職員の共通理解に基づいた組織的な対応状況が60%以上		2 教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1 教職員の共通理解に基づいた組織的な対応状況が60%未満		1 教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○将来の自立に向けた保育活動・相談活動等に取り組む。 ①幼保小の円滑な連携を推進する。	①一人一人がよさを発揮し、可能性の実現に向け、必要な体験を得られるようにする。 ②異年齢交流、及び小学校と連携した交流活動を行う。 ③アプローチカリキュラムを計画的に実践する。	4 幼児が自信を付け、園生活への期待や意欲が高まっている状況が70%以上	4	4 教員アンケートの肯定的回答70%以上	4	・異年齢交流や近隣幼稚園、保育園との合同保育体験、小学校との交流の機会の充実により、幼児が意欲を高めて活動する姿が多く見られた。	・併設幼稚園であるよさを生かして年長児の給食体験の機会を増やす等、幼小の円滑な接続を一層深める。また、アプローチカリキュラムの改善を進める。	A	A	・未就園児との交流や他園との交流など、多様な人との関わりにつながっている。小学生との交流や給食体験の機会など、併設小学校のメリットを最大限活用していく。
			3 幼児が自信を付け、園生活への期待や意欲が高まっている状況が65%以上		3 教員アンケートの肯定的回答65%以上						
			2 幼児が自信を付け、園生活への期待や意欲が高まっている状況が60%以上		2 教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1 幼児が自信を付け、園生活への期待や意欲が高まっている状況が60%未満		1 教員アンケートの肯定的回答60%未満						
○教員の指導力を高めるための、組織的な取組を行う。 ①園内研究、区幼研究等で実践的な保育の研究・研修を進める。	①視点やねらいを明確にして研究・研修を進め、相互に学び合う。 ②墨田区研究協力園2年次の取組では、1年次の実践を深めるとともに、講師から学び、成果を発信する。	4 計画的な研究・研修の実施率が80%以上	4	4 教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・園内研究では、区の研究協力園2年次の取組を行い、教員が研究方法等について学びを深める機会となり、研究実践に取り組む意欲を高めることができた。	・研究の取組の成果と課題に基づいて、今後一層、研究実践を深め、指導力の向上を図る。	A	A	・特になし	
		3 計画的な研究・研修の実施率が70%以上		3 教員アンケートの肯定的回答70%以上							
		2 計画的な研究・研修の実施率が60%以上		2 教員アンケートの肯定的回答60%以上							
		1 計画的な研究・研修の実施率が60%未満		1 教員アンケートの肯定的回答60%未満							
生活指導等	○基本的な生活習慣の定着や人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①家庭と連携した健康な生活リズムや基本的な生活行動の定着を図る。 ②集団のルールや善悪の判断を身に付けさせる。 ③身近な自然と触れ合う環境づくりを進める。	①早寝・早起き・朝ごはん、身の回りの始末の定着について、家庭と連携して進めていく。 ②遊びを通して、集団のルールや善悪について考え、解決していく過程で身に付けさせる。自分の気持ちを調整することも学ばせていく。 ③飼育動物の世話や植物の栽培等を通して、自然体験を広げ、命の尊さや大切さを学ぶ活動を行う。	4 活動への意欲や命を大切にすることを幼児の行動変容状況が70%以上	3	4 教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上	3	・集団での遊びを通して、互いに気持ちよく遊ぶために課題を解決していく経験を重ね、他者理解や関わり合いを深めることができた。 ・季節に合わせた植物の栽培や年間を通じた飼育動物の世話等、自然体験の機会を通して命の大切さを学ぶことができた。また、食育活動を育てる、収穫する、味わうというサイクルで充実させた。	・朝の生活リズムを整えること等、家庭と連携した取組を進めたが、方法等を工夫し、連携を一層深めていく必要がある。	A	A	・野菜を自分たちで育てて食す、生き物の世話を通して触れ合い慈しむ心、普段関わりのない人との交流、季節ごとの日本文化を生かした体験など、すべてが子供たちの成長に意味があり、よい影響をもたらしている。保護者の負担はあるかもしれないが、続けてほしい。
			3 活動への意欲や命を大切にすることを幼児の行動変容状況が65%以上		3 教員・保護者アンケートの肯定的回答65%以上						
			2 活動への意欲や命を大切にすることを幼児の行動変容状況が60%以上		2 教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1 活動への意欲や命を大切にすることを幼児の行動変容状況が60%未満		1 教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○幼児の安全・安心な園生活に向けて組織的な取組を行う。 ①教職員は、子供の思いや願いを受け止め、認め、励まし続ける指導を進める。	①幼児に友達のよさを見付けさせ、ふわふわ言葉や集団で生活するための言葉等の表現に気付かせていく。	4 幼児の温かな人間関係の醸成の状況が70%以上	4	4 教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上	4	・教職員は、幼児の思いや願いを受け止め、他との関わり合いを深める言葉かけ等の援助を進めることができた。	・異年齢やより大きな集団の中でも、幼児が安全・安心に思いや願いを発揮できるように援助の工夫を一層深めていく。	A	A	・教職員は、忍耐力と熱意をもって教育活動を進めている。相手を思いやる気持ちや友達に手を差し伸べることなどが育まれている。
			3 幼児の温かな人間関係の醸成の状況が65%以上		3 教員・保護者アンケートの肯定的回答65%以上						
			2 幼児の温かな人間関係の醸成の状況が60%以上		2 教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1 幼児の温かな人間関係の醸成の状況が60%未満		1 教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○危機回避能力の基礎の育成や幼児の安全を確保するための取組等を行う。 ①園生活の安全を高める取組を進める。	①園独自の避難訓練や小学校と連携した避難訓練等、日常的に防災・安全教育を進める。	4 安全指導等の取組の実施状況が80%以上	4	4 教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・避難訓練や園内外での安全指導の充実を図った。幼児が避難行動の意味を理解し、安全な行動を身に付けることができた。	・小学校と連携した避難訓練では、児童の避難行動の様子に触れ、避難行動の理解が一層深まった。このような機会を捉えて防災・安全教育を計画的に進める。	A	A	・定期的な避難訓練により、防災意識が子供たちにも身に付いている。
			3 安全指導等の取組の実施状況が70%以上		3 教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2 安全指導等の取組の実施状況が60%以上		2 教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1 安全指導等の取組の実施状況が60%未満		1 教員アンケートの肯定的回答60%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
園の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①各教員が園経営方針に基づいた目標設定をし、教育課程に基づいて幼稚園運営を行う。	①園長、副園長、小学校側と毎朝経営会議を行い、業務の遂行状況、進行管理を確認する。 ①自己申告時に教員が適切な目標設定を行い、園経営に参画する。	4	教育課程の達成状況が80%以上	3	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	3	・教員が管理職からの助言に基づいて、目標設定を行い、参画意識を高めて園運営を進めた。幼児の実態に応じて、一人一人のよさが発揮できるように、柔軟に園運営を進めた。	・より明確に分かりやすく園経営のビジョンを示すとともに、園分掌をより効率的、効果的に組織して園運営を充実させる。	A	A	・特になし
			3	教育課程の達成状況が70%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	教育課程の達成状況が60%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	教育課程の達成状況が60%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○幼児の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価を適切に行う。 ①適正なPDCAサイクルに基づいて学校運営を行う。	①内部の園評価や保護者等の外部評価に基づいて、園運営の改善を進める。	4	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況が80%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・教育課程の各項目に基づいて内部の園評価を行った。また、適時の保護者等の外部評価と合わせて園運営の改善を進めることができた。	・各調査結果等に基づいたPDCAサイクルを確実に実施し、園運営の充実を継続して図っていく。	A	A	・コドモンでの配信は、いつでも確認が可能であり、有効である。
			3	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況が70%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況が60%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況が60%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①安心・安全を第一に考えた環境整備を行う。	①安全点検を定期的に行い、安全な環境づくりを進める。	4	環境整備や美化の良好な状況が80%以上	4	4	保護者アンケートの肯定的回答80%以上	4	・幼児の豊かな体験を保障することができるように、また、安全・安心な場となるように教育環境を整えることができた。	・定期的な安全点検だけでなく、保育の振り返りの視点からも教育環境の整備につながるようにする。	A	A	・事故の未然防止のための小さな声掛けや、感染症対策などがされている。大人の目も多くあり、安心・安全につながっている。
			3	環境整備や美化の良好な状況が70%以上		3	保護者アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	環境整備や美化の良好な状況が60%以上		2	保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	環境整備や美化の良好な状況が60%未満		1	保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
家庭・地域連携	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①保護者、地域が参画する保育、連携する保育の充実を図る。	①保護者が参加、参画する活動、小学校や関係諸機関と交流する活動を計画的に実施する。 ①区内幼稚園との合同保育の機会を豊かな体験の場とする。	4	保護者、地域等と連携した活動の実施状況が70%以上	4	4	保護者アンケートの肯定的回答70%以上	4	・保護者の会役員を中心として園の教育活動への参画が進められた。公開保育や保護者会等を通して、保護者や地域から理解、協力を深められた。	・保護者や地域が参加、参画する機会をより意図的、効果的に推進することができるように一層工夫する。	A	A	・行事や公開保育、個人面談を通して家庭との連携協力体制がつけられている。役員会を中心に、マネジメントサイクルを活用し、保護者や地域との協力体制をとっている。
			3	保護者、地域等と連携した活動の実施状況が65%以上		3	保護者アンケートの肯定的回答65%以上						
			2	保護者、地域等と連携した活動の実施状況が60%以上		2	保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	保護者、地域等と連携した活動の実施状況が60%未満		1	保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組を行う。 ①情報発信の仕方を工夫するとともに回数を増やす。	①保護者会、幼稚園公開、保育参観、個人面談、家庭訪問を計画的に実施する。 ①園だより、学級だより、ホームページ、ドキュメンテーション等により、定期的な発信を行う。	4	公開等の実施状況、配布物等の発信状況が70%以上	4	4	保護者アンケートの肯定的回答70%以上	4	・学校・園運営連絡協議会、家庭の協力を得て、公立幼稚園を紹介する動画を作成することができた。また、地域の協力を得て、公立幼稚園の広報を行うことができた。	・今後、情報発信の仕方を工夫して、公立幼稚園の理解を促進する取組を継続する。	A	A	・園の存続と教育活動の充実に向けて発信方法を工夫していく。
			3	公開等の実施状況、配布物等の発信状況が65%以上		3	保護者アンケートの肯定的回答65%以上						
			2	公開等の実施状況、配布物等の発信状況が60%以上		2	保護者アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	公開等の実施状況、配布物等の発信状況が60%未満		1	保護者アンケートの肯定的回答60%未満						
	○地域に開かれた幼稚園として、持続可能な園運営を推進する。 ①園運営の様子を広く発信する。	①学校・園運営連絡協議会を通して、地域との連携を密にする。 ①未就園児の会の充実等、地域が園に関わる機会を設定する。	4	園運営の発信や参加する機会確保の状況が80%以上	4	4	学校運営連絡協議会からの肯定的回答80%以上	4	・園運営の課題を相談して、学校・園運営連絡協議会や地域から多くの協力を得られ、地域に開かれた公立幼稚園として運営することができた。	・この地域にある公立幼稚園のよさを一層明確にし、継続して家庭・地域との連携を進める。	A	A	・特になし
			3	園運営の発信や参加する機会確保の状況が70%以上		3	学校運営連絡協議会からの肯定的回答70%以上						
			2	園運営の発信や参加する機会確保の状況が60%以上		2	学校運営連絡協議会からの肯定的回答60%以上						
			1	園運営の発信や参加する機会確保の状況が60%未満		1	学校運営連絡協議会からの肯定的回答60%未満						

○令和6年度 幼稚園経営報告のまとめ（総括）

- ・家庭、地域、学校・園運営連絡協議会との連携を深め、教育活動や教育環境等、園運営の充実を図ることができた。
- ・墨田区研究協力園2年次の研究の取組によって、意欲的に遊びに取り組む環境作りを工夫することができた。また、教員の指導力向上を図ることができた。
- ・今年度の取組を一層深め、幼小連携をさらに深め、子供の豊かな活動を充実させていく。